

システムとしてみる地域活性化

ぬまづ産業振興プラザ
東海大学 開発工学部
山本公一

システムとシステム工学

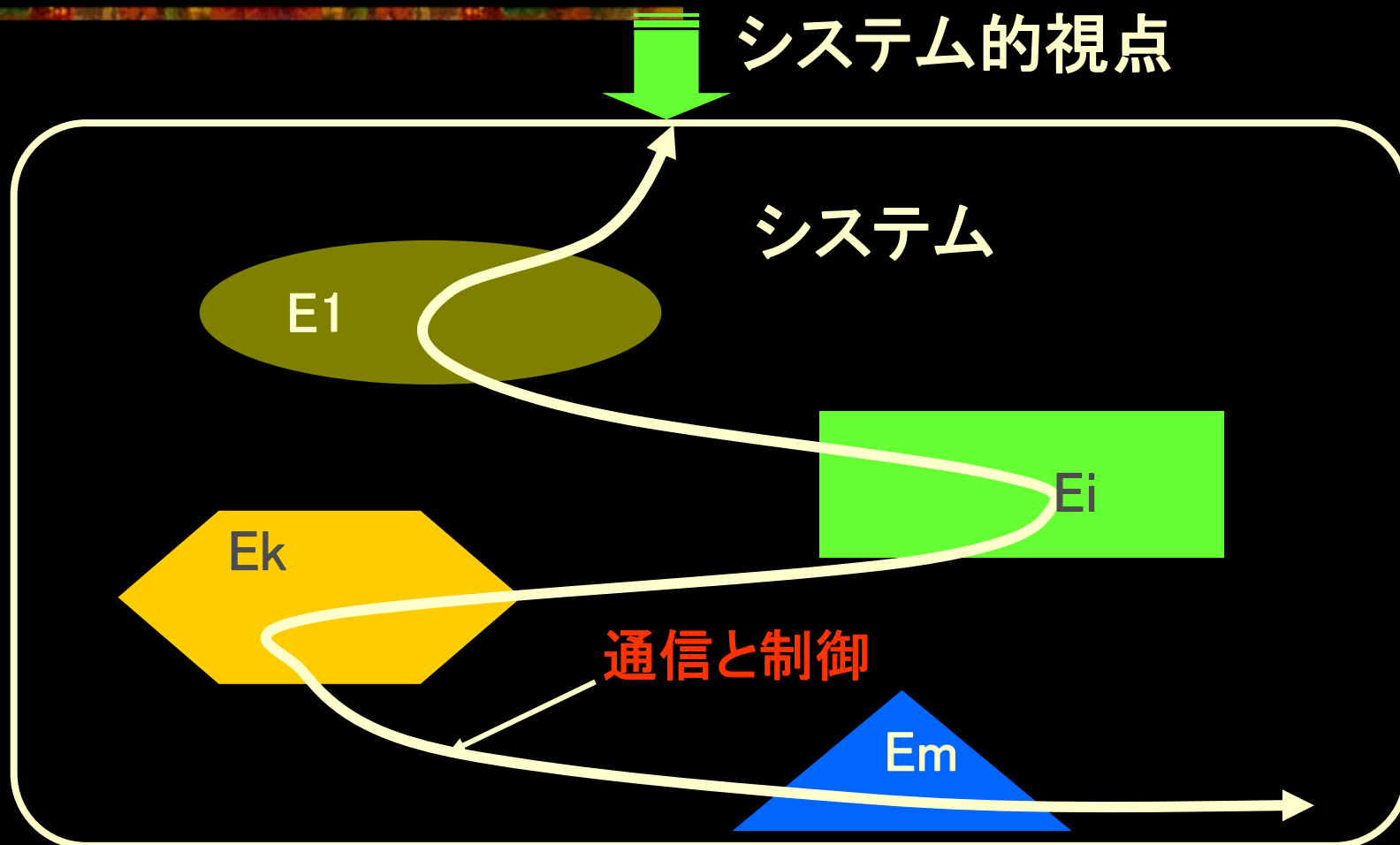
■ システム

ある目的を達成するために、多数の要素間を通信と制御により組織的に結合し、要素の和以上の機能や特性を発揮するものをシステムという

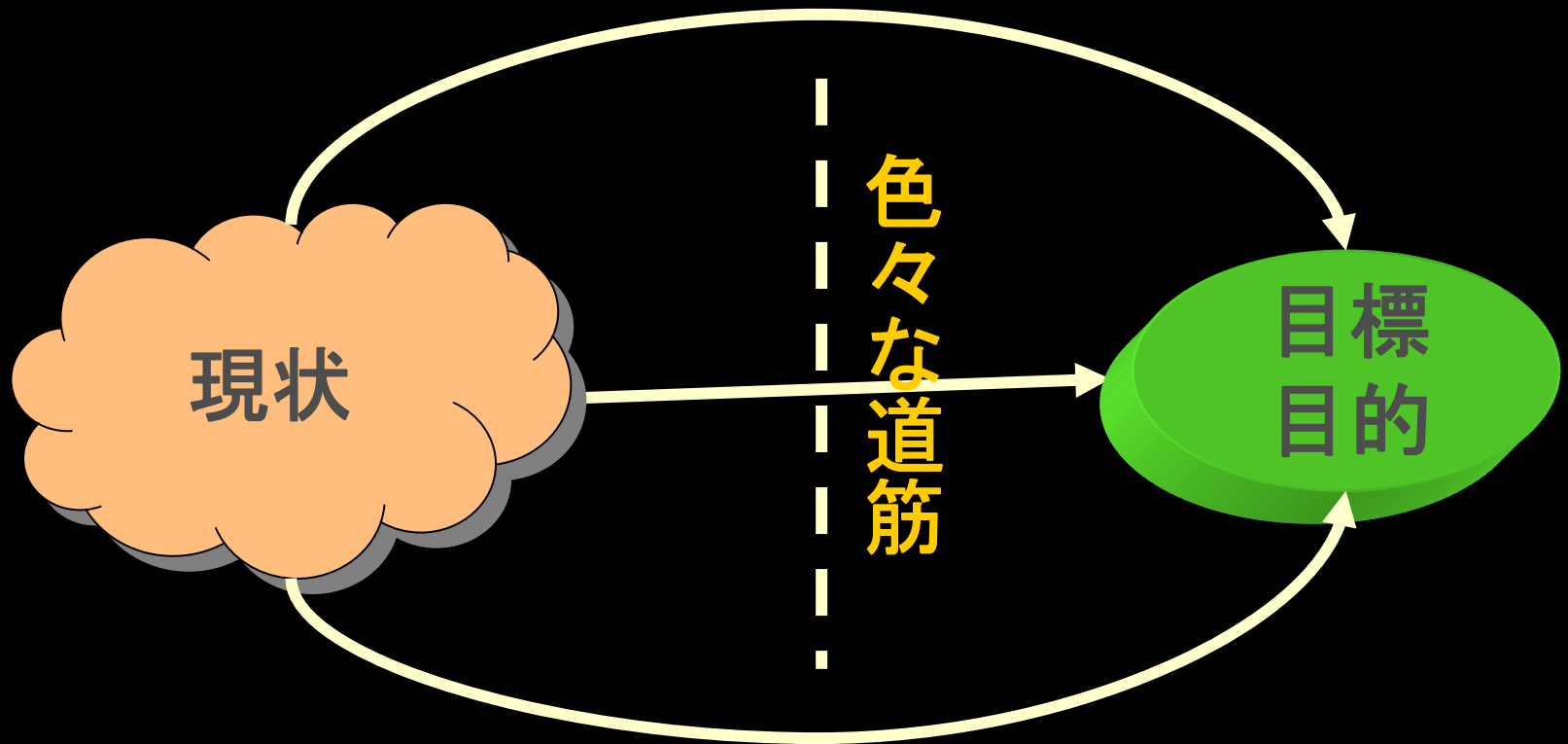
■ システム工学

このような多数の要素からなるシステムを目的に合わせて実現するための方法論であり、「思考論」(システム思考)と「数理論」(システム数理)で構成され、対象が曖昧な悪構造問題を解くものである

システムの捉え方



システム思考の構図



目標到達への色々な道筋を考える

システム思考

- 常に目的・目標があること(マクロ思考が基本)
- 目的・目標と現状の乖離を埋める道筋を求めること
- 全体思考であること
- 全体と部分の関係を把握すること
- 階層的・ネットワーク的に考えること
- 常に代替案を持ち比較評価すること
- システムを取り巻く環境のダイナミズムを考えること

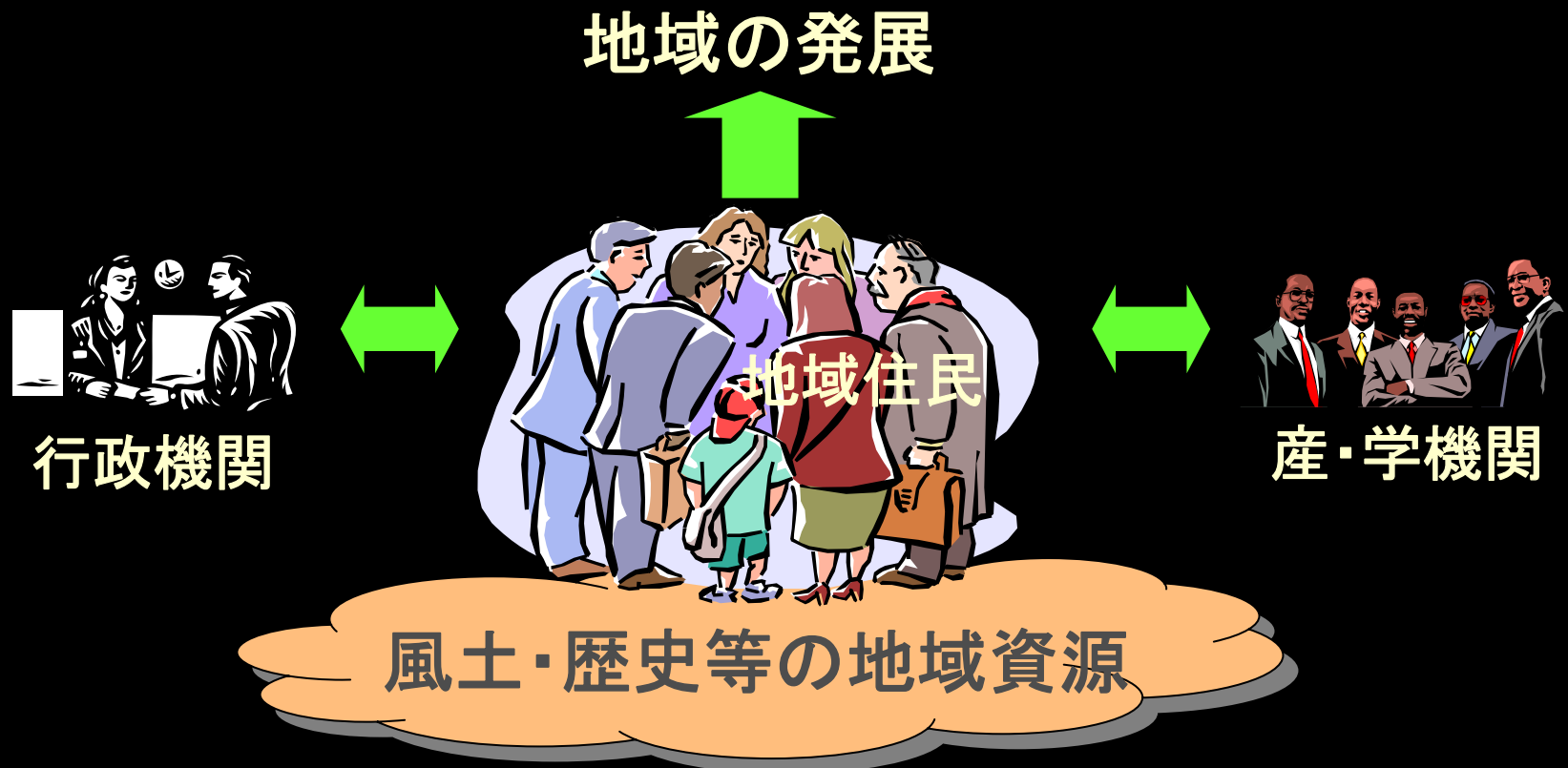


森を見てから木を見ることが原則

地域の活性化とは

- **地方と地域**⇒「地方」は中央の枠内での概念であり従属的、「地域」は中央の枠外での概念であり独立的⇒地域は開放的、地方は閉鎖的
- **地域の活性化**⇒地域自身で該地域の歴史・風土等の各種資源・価値を積極的に活用して該地域の住民が生き生きと生活を楽しめ、且つ、国内(国外)に“該地域あり”を認知せしめ、他地域との人的・物的等の交流を促進せしめることと定義する⇒しかし活性化の方程式はない

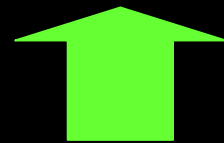
地域活性化は地域住民で



地域を構成する人々が活動せねばならない

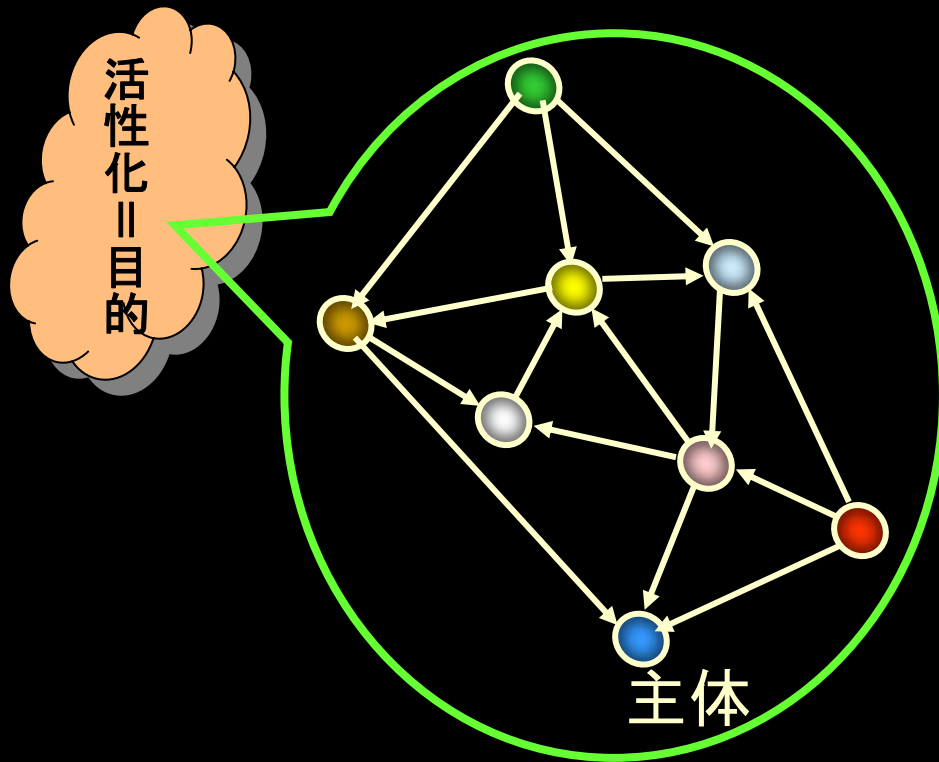
活性化の人々＝企業人と同様

- 自分で問題を発見し解決できる人々⇒創造力
- 物事を別な観点から批判し提案できる人々⇒提案力
- 目的を信じて働くことに意気を感じる人々⇒持久力
- 言葉で人をその気にさせる賢慮な人々⇒言語力
- 責任を持って全体の纏めが出来る人⇒責任力
- 難現象に弁証法的に対応できる人⇒洞察力



他利主義思想で自分のこととして活動できる人々

人々が目的意識行動をすると



- 相互作用とは主体相互の依存関係であり、自立や独立とは対峙する概念である
- ある主体の行為が他の主体の行為に影響を及ぼし、また、他の主体の行為によって自らの行為も影響を受けることを言う
- 集合行為による自己組織化の出現

地域活性化の要素または着眼点

- 産業を基本にした活性化
- 観光を基本にした活性化
- 教育を基本にした活性化
- 健康・福祉を基本にした活性化
- 環境整備を基本にした活性化
- 歴史的・文化的資源を基本にした活性化



地域の個性を重視した活性化が必要である

活性化には理念が必要

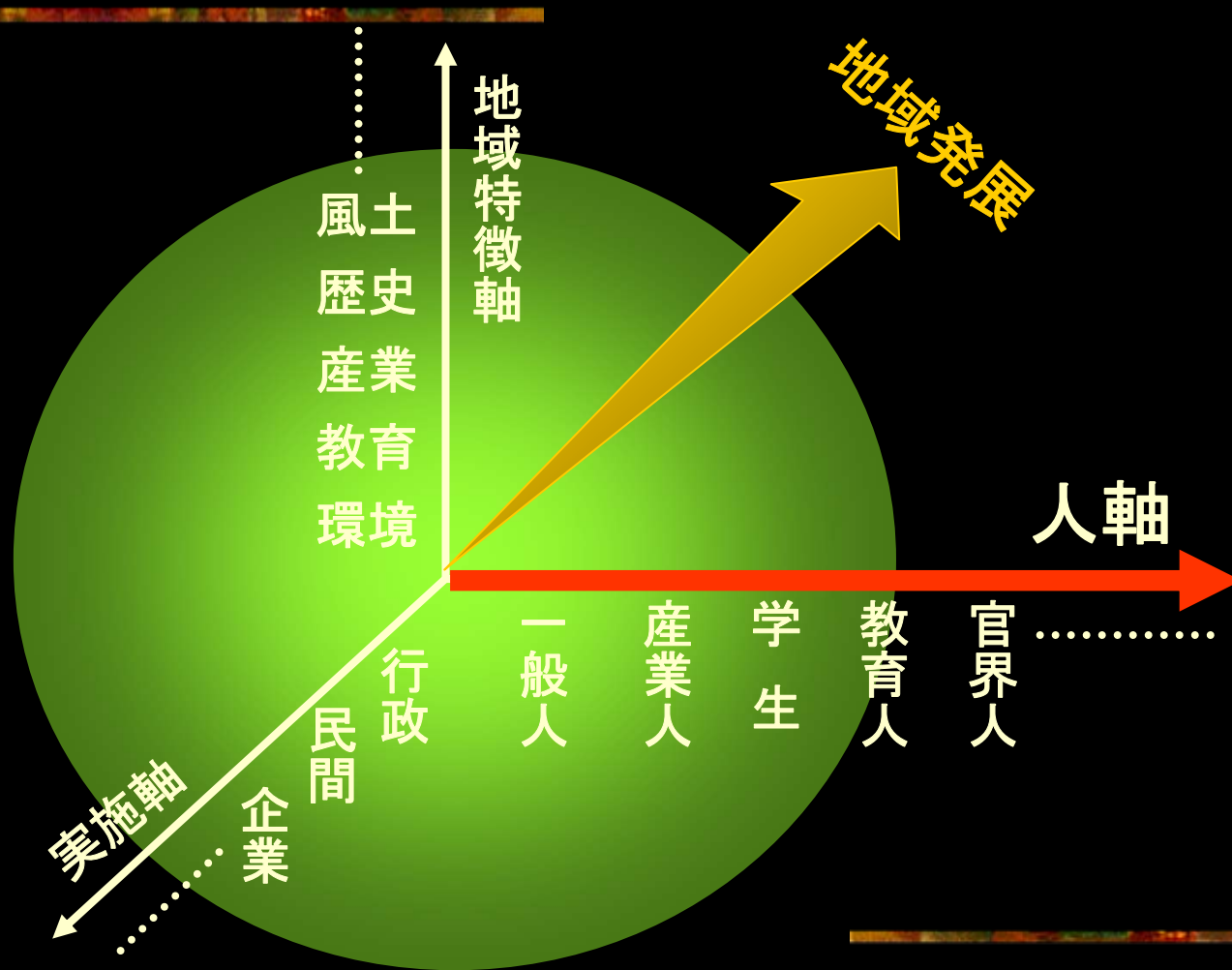


- 地域の風土・資源の価値の発見と活用
- そのためには活性化するという理念が必要
- 地域の人々が共創・協調する
- これにより創発性を発揮する

地域活性化の理念・戦略

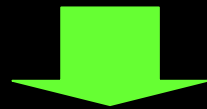
- 地域の人々が原点であることを
- 地域を愛する心情を基に沼津地域の産業を含む社会全体の活性化の認識を
- 自分の専門の中心点にコンパスの軸をおき、コンパス半径は大きくして考えることを
- 大局的着眼⇔小局的着手の繰り返しを
- 沼津地域学の実現を

地域活性化のベクトル図



(私見) 沼津地域活性化の要点

- 風土的特徴: 水・海・山による湿潤温暖
- 歴史的特徴: 北条早雲・臨濟宗白隠・兵学校西周・沼津御用邸・千本松原長円...
- 産業的特徴: 水産・水産加工・茶・茶加工・蜜柑・バイオ...
- 学術的特徴: 東海大学・沼津高専・富士常葉大学・日大・遺伝研・ファルマバレーセンタ...
- 観光的特徴: 後背地に伊豆地域と富士山地域



健康と食と癒しをテーマにした地域の活性化

(私見) 鉄道駅＝地域諸々ハブ

駅を交通の基点のみならず地域に密着する日常的な諸々のハブとする



教育・集会・癒し・食事・案内・手続き・健康相談・物産展示などを歩行最少の距離で



まず駅エリアで統一的なソフト開発⇒次いで順次に必要なハード開発を

戦略とは（「戦略の本質」；日本経済新聞社、2005）

- 戦略の本質が最も顕在化するのとは逆転現象時に発するのではないか。すなわち戦略は首尾一貫性から成り立っているのではないか。
- 戦略の本質とは何か
 1. 戦略は「弁証法」である。正→反→合のダイナミック性であり、対象との相互作用で成り立つ。
 2. 戦略は「真の目的」の明確化である。
 3. 戦略は時間・空間・パワーの「場」の創造である。複雑性における相互作用か。
 4. 戦略は「人」である。
 5. 戦略は「信頼」である。
 6. 戦略は「言葉（レトリック）」である。
 7. 戦略は「本質洞察」である。「原点」は何かの洞察である。
 8. 戦略は「社会的に」創造される。
 9. 戦略は「義（ジャスティス）」である。
 10. 戦略は「賢慮」である。